

中小E・C向き 物流支援強化

ア テ ナ

大手対象にシステム提供も

ダイレクトメールの発送代行を手がけるアテナ

(本社・東京都江戸川区、渡辺剛彦社長)は通販支援事業を強化する。日本

インフォアと協業し、自社の物流センターにWMS

S(物流倉庫管理システム)を導入。大手通販企業へ同システムをASP

型で提供するほか、五月から中小規模のネット販売事業者を対象にした物流パッケージサービスを開始する。アパレルや健

食、書籍、雑貨などを扱う仮想モール出店企業などの利用を想定し、初年度は五十社程度の受注を見込んでいる。これらサ

ービスを並行して展開し、通販市場での顧客獲得を進めたい考えだ。

同社は二〇〇七年五月に千葉県船橋市に「新東京物流センター」(五階建て、二万八千四百七十

一平方メートル)を開設し、各地に分散していた拠点を

集約。関東での物流拠点として販促資材の配送などを行っている。

このたび、日本インフォアとの協業で同センターにWMSを導入。ロケ

ーションの管理や作業帳票の出力、ハンディター

ミナルの使用、運賃計算などが可能になった。ま

た、庫内の作業が標準化されたことで商品管理などが容易になり、「クラ

イアント」のどのような仕組みにも広範囲に対応できる(同社経営企画部)。

小ロットの作業への対応も容易になったため、中小規模のネット販売事業者の物流支援に乗り出した。

中小ネット販売事業者向けサービスでは、商品の検品や梱包、配送など、受注後の出荷までの作業を担当。「このサービスを

利用でネット販売事業者者はMDや販促に注力でき、人件費の削減にもつ

ながる(同)とし、楽天の出店店舗や独自サイトの開設を検討している

店舗など、年商一億円程度の企業を中心に利用を働きかけていく方針だ。

利用料や事務手数料などの固定費が約三万五千円。三十件程度の出荷の場合、作業費や資材費などを合わせて合計で月額五万円程度となる見込み。

同サービスと並行して、大手通販企業向けのシステム提供サービスにも着手。WMSをASP

型で安価に提供するもので、倉庫を既に保有する企業などが対象となる。

料金は約五年の利用で五千万円程度になる見通し

で、要望があれば月額利用などの形にも対応する予定。

利用料金は、システム